

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国内旅行実務 I Travel Agency Work-Domestic Travel I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(旅行業務取扱管理者試験必修)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
下山 和生	講師室	水曜日 10時から16時 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
国内旅行を計画するにあたって必要な交通機関の運賃・料金や宿泊機関の規則や計算の方法を学ぶ。 また、国家資格である「旅行業務取扱管理者試験」にも対応する授業内容である。				
授業の目標				
①運賃や料金の仕組みを習得できるようにする。 ②国家試験合格レベルに達することができるようにする。				
授業の方法				
講義が主体である。				
学習の成果 (学習成果)				
J R ・ 航空 ・ 私鉄などの交通機関の運賃や料金の算出の仕方および宿泊機関などの料金の算出方法が身につく、国内旅行商品の基本構造も身につけることができるようになり、国家試験にチャレンジできる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	概要説明、JR用語の定義			
第2回目	J R 運賃規則 (年齢区分、運賃計算の基本)			
第3回目	J R 運賃規則 (本州と北海道・四国・九州とでまたがる場合の運賃計算、通過連絡運輸)			
第4回目	J R 運賃規則 (運賃計算の特例)			
第5回目	J R 運賃規則 (個人の割引運賃)			
第6回目	J R 料金計算 (料金の種類、料金計算の基本ルール、特急料金の計算)			

第7回目	J R 料金計算（グリーン料金・寝台料金・個室料金の計算）
第8回目	J R 料金計算（新幹線内乗継、在来線特急の乗継）
第9回目	J R 料金計算（乗継割引、団体）
第10回目	国内航空運賃（航空券の種類・割引運賃）
第11回目	国内航空運賃（予約 購入期限、有効期間）
第12回目	宿泊料金（料金の計算、違約金）
第13回目	貸切バス運賃・料金（運賃の種類、運賃・料金計算）
第14回目	貸切バス運賃・料金（違約料）、およびフェリー運賃・料金（年齢区分と運賃・料金計算）
第15回目	フェリー運賃・料金（乗船券の有効期間、払戻し、払い戻し手数料）

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。授業に集中し、必要なことはノートに取り、積極的に質問する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	80%	S評価の基準：S = 90 - 100
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

2016年版 U-CANの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン（ユーキャン自由国民社）

履修上の留意点・ルール

チャレンジ精神旺盛で、国家試験合格を目指す学生であることを期待します。